



学びに向かう態度を育てる指導

“出前かすた”を実施する子の大半は、情緒面・行動面の問題が顕著で、学習に取り組めない(ことが多い)子です。その背景要因には、① 発達障がいやその傾向 ② 望ましい行動の未学習や誤学習 ③ 強い心理的ストレス(主に学校や家庭内の人間関係によるもの)などがあり、複数の要因が重なる場合もあります。問題の表れ方が似ていても、背景要因によって対応には異なる点がありますが、それについては別の機会に取り上げることとします。

出前かすたでは、いずれの場合においても、子どもの特性や心情の理解に努めながら、子どもとの人間関係を築きつつ(この時点で相当困難な子もありますが…)、いくつかの学習課題を与え、指示を聞いて、それに従い、心穏やかに学習活動に取り組めること、いわば学習活動の土俵に乗ることを目指す指導を行っています。

ゴールは個別指導の場面に限らず、学級での授業場面でも自律的・適切に行動できるようになることです。ただ、出前かすたによる指導は期間が限られるため、終了後は学級やかかがやきルームなどの対応で、指導の連続性が保たれるよう引き継いでいます。

毎回の指導の**開始時**には、**学び方のめあて**を記した**チェック表**(項目内容は、その子がクリアできる項目を含めて相談員が設定)を子どもに音読させ、そのとき既にできている項目に対しては、読み上げることに間髪入れず、「今、できてるね。」と声かけをします。

活動の**途中**、チェック項目の内容ができているときも、その都度「(項目の内容が)できてるね。／よくできたね。」と認める言葉かけをします。相談員からのオーダーを見取って認めていることが、子どもに伝わるようにします。

活動の**最後**は3段階(◎○△)で自己評価する「**振り返り**」の活動を取り入れ、子どもが学び方のスキルを理解し、意識して取り組めるようにしています。

かがやきルームでの指導や、通常の学級における学業指導の第一歩を行う際の参考になればと思います。



チェック表の例(小学校低学年用)

★ かすたネット・マスターは きみだ! ★

_____ 月 日

なまえ _____

さて、きょうのきみは どうだったかな?
◎ ○ △ で チェックしてみよう。

1	・ハヤにはいるとき“トントントン” 「しつれいします」が いえたよ。	
2	・「せなかピン」「手はおひざ」で はなしを きくことが できたよ。	
3	・わからないとき(SOSカード)を つかえたよ。	
4	・きれいな もんだいに『ちょうせん』 できたよ。	
5	・“おたのしみ”の「おわりのじかん」 を まもれたよ。	

* ◎が2個いじょうだと “きんきらシール”がゲットできるよ!

チェック表に入る項目の例です。実態(課題)に応じて担当相談員がチョイスしています。

- ぐうれいに あわせて、あいさつ できたよ。
- ふでばこの 中には、えんぴつ5本と けしごむが ひとつ はいっているよ。
- ふでばこ ノートを、じぶんで だせたよ。
- せんせいの はなしを、さいごまで きくことが できたよ。
- 手をあげて さされてから はなすことが できたよ。
- せんせいに いわれたものを だせたよ。
- いすから おしりが はなれなかったよ。
- ルールを まもって ゲームが できたよ。
- 「がんばれ」「どんまい」「ありがとう」が いえたよ。
- あたまにきても(イライラしても)、人のことを きずつけなかったよ。

項目内容は、子どもの姿に応じてレベルアップを図るなど、機を捉えて見直していきます。

担当 学校生活適応支援アドバイザー(飯山・大瀧)
TEL 639-4392